

令和7年度中間期 教職員自己評価について

本校の本年度の重点課題は、令和6年度と同様です。各項目は、以下のとおりです。

○「自ら学び、ともに考え合える子」の育成のために

- ①学習規律を守り、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ②情報機器等を活用し、学習意欲を高めるとともに、自分の考えをもち、コミュニケーション力を育む指導を行う。
- ③主体的・対話的で深い学び、協働的な学びとなるような ESD 等に取り組む。

○「他人を思いやる温かい心をもつ子」の育成のために

- ④進んで挨拶し、学校のきまりやマナーを守る態度を育成する。
- ⑤人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを行う。

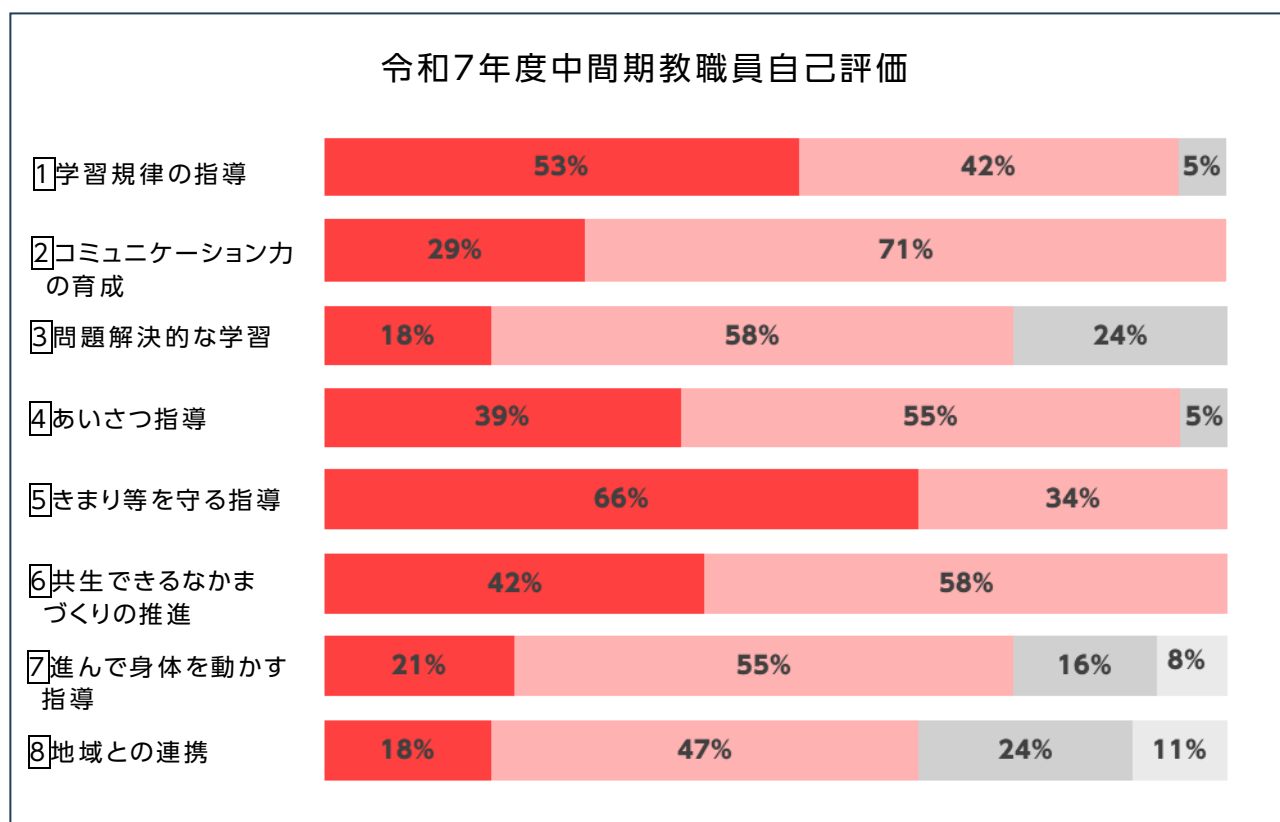
○「健康でたくましい子」の育成のために

- ⑥遊びや運動に親しむ態度の育成を図る。

○「生駒を愛する子」の育成のために

- ⑦学校・家庭・地域と連携した協働活動を推進する。

上記の内容が網羅されるように教職員の質問項目を精選し、上記の項目の④を「あいさつ」と「きまり」に分け、8項目において自己評価を行いました（1学期末実施）。以下にその結果を示すとともに、簡単な考察を記します。



1学習準備を整えさせ、学習規律を守るよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、95%でした。例年95%前後の評価で推移している項目です。「少ししかできなかった」と回答した担任に尋ねたところ、自分の目標とするところまで到達できなかったという、前向きなものであり、教職員が学習規律を意識して日々の学習指導に取り組んできたことが伺えます。

本校では研修部会「研究推進部」が中心となって、「生駒小学校 学習の約束（教師用）」を作成し、学習用具の準備、授業中の姿勢、発表の仕方等の指導について、どの学級でも同じように指導ができるよう、教職員間での共通理解を図っています。そのため、基本的な学習指導が広く行き渡り、どの学級・学年においても、授業中子どもたちは落ち着いて学習に向かうことができたように思います。一学期中も、授業中の様子をご覧いただいた方々は、子どもたちが落ち着いて熱心に、また楽しそうに学習に取り組んでいるというお言葉をいただくことができました。

2学習意欲を高める工夫をし、自分の考えをもたせたり、話し合い活動をさせたりして、コミュニケーション力を育む。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は 100%でした。

本校では昨年度まで、国語科を中心に「書く」活動による子どもたちのコミュニケーション力を高めるための研究を進めてきました。その成果を生かして、どの学年でも引き続き「書く」活動を重視した授業を実施しており、書くことへの苦手意識を持つ子どもが比較的少ないように思います。また、学習意欲を高めるために、ICT 機器等を効果的に活用した授業を行ったり、コミュニケーション力を育むためにグループ学習を積極的に取り入れたりする学級がみられました。二学期以降も、児童の学習意欲の向上を図るとともに、コミュニケーション力を育てていきたいと思っています。

3SDGs学習やESD等、主体的・対話的で深い学びになるような問題解決的な学習に取り組んでいる。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、76%でした。割合としては、昨年度の同時期よりも約13ポイントの上昇を見ました。

今年の4月に本校はユネスコスクールへの承認を得ることができました。各教科では、子どもが主体的に学びを進めるべく、地域学習等を主体とした ESD（持続可能な開発のための教育）を本年度も継続して進めています。各学年とも本格的に ESD を実施するのは二学期からですが、すでに国際交流など各学年において様々な取組がなされており、今回の結果につながったものと思われます。また、算数や理科の学習などにおいて、子どもたち自身が学習の進め方や学習方法を考え、主体的に学びを進める取組をしている学年や学級もあり、二学期以降、この項目での充実を目指していきたいと考えています。

4友だちや先生、地域の方たちに自分から進んで挨拶できるよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、95%でした。割合としては、昨年度よりも約2ポイント下がりました。

本校の子どもたちは、よく挨拶をする子が多いです。教職員の指導や、地域の方や家

庭でのお声掛けのおかげだと感じています。朝、通学路を歩いていても「おはようございます」とよく声をかけてくれますし、見守りの方から「気持ちの良い挨拶をしてくれる子がたくさんいます」とのお声を頂戴することもあります。例年二学期には、委員会の子どもたちが挨拶運動に取り組んでいますし、地域学校協働本部でも、見守りと学校のあいさつ運動を連携させては同課とのご意見をいただいております、今後の取組の充実を図りたいと考えています。

5 マナーやモラル、ルールを守って行動することで安心して学校生活が送れるように指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、昨年度に引き続き本年度も100%でした。

年度当初に生徒指導部会で作成した「生徒指導の手引き」を活用しながら、生徒指導に関する共通理解を教職員間で図り、一貫した指導に当たっています。また、定期的に生徒指導部会を開催し、生徒指導案件に関する情報交換を行い、どの学年でも同じように指導する、大切なことは必ず伝えることを心掛けています。そのため、本年度も子どもたちは落ち着いて、安心して学校生活を送っているように感じます。二学期以降も子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができる学校づくりを行いたいと思います。

6 安心して学校生活が送れるよう、人権意識を高め、自分も相手も尊重して共生できる仲間づくりを進める。

この設問に対しても「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、100%でした。これは昨年度も同様の結果でした。

本年度も引き続き人権教育の目標を「相手も自分も大切にする子どもを育て、互いの違いを認め合い、支え合うなかま集団を育てる」に定め、全校体制で様々な取組を行っています。本年度も、本校の伝統となってきた「ありがとうの木」に全学年で取り組み、子どもたち同士がお互いに「ありがとう」の気持ちを伝えあうよい機会となっています。また、実施時期は学年ごとですが、人権教育の学習参観を全ての学年で実施し、保護者の皆様と共に人権について考える機会を持つ予定です。さらに、道徳の授業においても、子どもたちの心を豊かにする取組を継続しています。特に本年度は二学期に生駒市の小学校教育振興会の道徳部会の公開授業を本校で行うなど、取組を充実させていく予定です。

7 業間や業前の遊びや体育の授業を通して、進んで体を動かすよう指導する。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、76%でした。割合としては、昨年度より約7ポイント下がった項目です。

朝休み、中休み、昼休みに外で元気よく遊ぶ子どもたちの姿を数多く見ることができま
す。運動場ではドッジボールや鬼ごっこ、低学年は遊具遊び、高学年はバスケットボールなど、学年の発達段階に応じてのびのびと遊んでいます。中には、曜日を決めて学級遊び教職人も一緒になって外に出ている場合もあります。ただし、今年の夏は非常に暑く、とりわけ7月に入ってから、高温だったため涼しい室内で過ごす子どもたちも多く、今回の結果になったのかもしれませんが、二学期には運動会があります。運動会練習や本番、体育の

学習、外遊びの際には、こまめな水分補給と帽子の着用を呼び掛けるとともに、毎時間 WBGT を計測し、熱中症の予防に努めつつ、子どもたちがしっかりと体を動かし体力をつけられるような取組を実施したいと思います。

8 子どもの学習理解を深めるため、地域に住む方の協力を得るなど、地域との連携を図る。

この設問に対して「できた」「おおむねできた」と回答した教職員は、65%でした。割合としては、昨年度よりも約8ポイント上昇しました。

このポイントは一昨年度より毎年上昇している項目です。毎日の登下校における見守り活動やゲストティーチャーを招いての授業など、地域の皆様との触れ合う機会が増えてきたことを子どもたちも教職員も実感している結果であると考えています。二学期も地域の方々にご協力いただいて授業や委員会活動、その他いろいろな行事が計画されています。また、本校では地域学習を中心とした ESD を推進しており、二学期以降本格的に活動を開始する学年もあり、この項目での評価の上昇を期待しています。今後も、地域の方や生駒市役所関係各課と連携し、地域の学習をさらに充実させたいと思います。